

新食品表示法 院内シンポジウム

「どうなる・どうする食品表示」

日時:2013年1月31日(木)12時~14時

※11時30分よりロビーで通行証をお渡しします。

場所:衆議院第一議員会館多目的ホール

最寄駅:国会議事堂前または永田町

消費者庁は新食品表示法の立案作業を進めています。通常国会での新法制定の後、現行の食品衛生法、JAS法、健康増進法に基づいた表示基準が見直しされ、新たな食品表示基準作りの検討が行われる予定です。新法の立案、食品表示一元化検討会で先送りされた加工食品の原料原産地表示、遺伝子組み換え食品表示、食品添加物表示の改正に向けてシンポジウムを開催します。ぜひ多数ご参加ください。

プログラム

12:00 主催者あいさつ

議員あいさつ

12:05 基調講演

「日本の食品表示制度に期待すること」-海外の制度との比較-(仮)

新山陽子さん 京都大学大学院農学研究科教授

12:45 食品表示ネット提言発表 佐野真理子(主婦連合会事務局長)

13:05 日本弁護士連合会意見書発表 石川直基さん(日弁連消費者問題対策委員会副委員長)

13:20 事業者報告 野本孝典さん(美勢商事(株)専務取締役)

13:30 質疑

13:45 各党国会議員意見表明

13:55 まとめ 神山美智子(食の安全・監視市民委員会代表)

新山陽子さん:農学博士。専門は農業経済学。研究テーマは牛肉などのフードシステムの構造変化に関する国際比較、食品安全確保の社会システム、消費者のリスク認知や食品選択行動など。著書『牛肉のフードシステム-欧米と日本の比較分析』(日本経済評論社)、『解説 食品トレーサビリティガイドラインの考え方/コード体系、ユビキタス、国際動向/導入事例』(昭和堂)など

主催:食品表示を考える市民ネットワーク

共催:全国農業協同組合連合会

【問い合わせ】

食品表示を考える市民ネットワーク事務局

東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

tel 03(5155)4756 fax 03(5155)4767

「食品表示を考える市民ネットワーク」は、2011年11月11日に開催された公開シンポジウム「消費者が考える食品表示一元化」の後、広く消費者の意見を集め消費者が望む食品表示法を実現するために結成されました。現在の構成団体は、食の安全・監視市民委員会/主婦連合会/NPO法人食品安全グローバルネットワーク/新日本婦人の会/生活クラブ生協連合会/グリーンコープ共同体/大地を守る会/NPO法人日本消費者連盟/遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーンです。